

会 議 録		令和 5 年 6 月 23 日 作成	令和 9 年 3 月 末 日 廃 棄
会議名	京都府川端警察署協議会（令和 5 年度第 1 回）		
開催日	令和 5 年 6 月 22 日（木曜日）		
時 間	午後 3 時から午後 4 時 50 分までの間（110 分）		
場 所	京都府川端警察署 講堂		
出席者	今村会長、今江副会長、太田委員、金丸委員、二之部委員、船木委員、古川委員 計 7 人		
	署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長、交通課長、警備課長、広聴相談係長 計 10 人		
諮 問 事 項	1 最近の川端警察署管内での犯罪発生状況について 2 最近の川端警察署管内での交通事故発生状況について		
会 議 内 容	1 署長挨拶 司会 副署長 2 会長挨拶 3 委員挨拶 4 警察署幹部挨拶 5 協議 (1) 諮問事項説明 最近の川端警察署管内での犯罪発生状況について～生活安全課長 【委員】 署員や防犯ボランティアの皆さんが防犯活動をしている様子の画像を見たが、多くの機会でもマスク着用を続けられていた。 防犯活動では、警察はマスク着用を継続するのか。 【警察】 広報啓発活動等で、人がたくさん集まる場所で会話する際には、当署員は自発的にマスクを着用するようにしている。防犯ボランティアの皆様も、多くの方々が自発的にマスク着用されている。 しかし、啓発活動の受け手側にはマスク着用は強制することはなく、マスク着用は自主的に判断してもらっている。 【警察】 マスク着用について、京都府警察としては基本的には個人の自由としている。 しかしながら、ソーシャルワーカーはマスク着用を推奨されており、		

それに従い、交番勤務員等もマスクを着用している。今後は感染症の状況を踏まえながら、場面に応じてマスク使用を判断していきたい。

(2) 諮問事項説明

最近の川端警察署管内での交通事故発生状況について～交通課長

【委員】小学生の通学路として使用される二条通の横断歩道で、以前に黄色の小旗を設置し、登下校路の安全確保に大きく役立っている。ところが、最近ではその小旗のボックスにゴミを入れられたり、小学生が小旗を使用しても止まらない自動車があるなど、小学生も小旗を積極的に使用しなくなってきた。

【警察】京都府警察全体として、信号機のない横断歩道の安全確保に力を入れている。委員御指摘の横断歩道についても、安全確保の必要性があるため、当署員を現場派遣し、ゴミ問題も含めて、実態を把握した上で交通安全の啓発活動を実施したい。

【委員】自転車事故や自転車の盗難被害について、自転車の種別による分析をしているか。スポーツ車や軽快車、電動自転車で、交通事故や盗難被害の発生傾向に違いはあるか。

【警察】交通事故の当事者や交通違反は、軽快車、いわゆる普通の自転車が最も多い。中にはブレーキの付いていないスポーツタイプの自転車乗車中の事故もあった。

【警察】盗難被害については、車種別にかかわらず、鍵のかかっていない、または鍵が比較的容易に外せる自転車が盗難被害に遭っている。電動自転車は初期装備で頑丈な鍵があり、また値段も高価であるため、所有者もしっかり管理され、盗難被害は比較的少ない。

6 事務連絡

令和5年度第2回川端警察署協議会は9月中旬の開催予定である。

以上

会 議
内 容

第1回京都府川端警察署協議会の開催状況

